

たんちん

発行日

第 84 号
60年10月号

編集発行

釧路地方腎友会
釧路市新富町一番七号
林田クリニック内



●10月10日/体育の日 ●10月19日・20日/一泊旅行 ●10月27日/健康講座

※※ 目 次 ※※

- 1P 一つの提案・歩くスキー
- 2P 高橋宏政後援会に協力を ●今後の行事 釧腎会 ●一泊旅行案内
- 3P 暑かった野遊会
- 4P 腎友会々合のお知らせ●花火の販売終る●健康講座の開催 ●会費納入のお願い
- 5P 一年間をふりかえって
- 6P ..
- 7P .. ●西別岳登山に参加して●トマトと私
- 8P 白壁と美術館の街・倉敷
- 9P 市立2部透析室レポート
- 10P クロスワード・パズル
- 11P ニュース
- 13P 会員の動向

雪の原野を歩いてみませんか？

冬のスポーツと言えはまずスキーを連想するでしょう。そして、カラフルなスキーウェアの若者達、隅々まできれいに踏み均されたゲレンデ、リフトを待つ長い列……、こんな賑やかな冬景色をイメージするに違いありません。ところが数年前からゲレンデスキーのような完全なレジャー型とは一寸趣の違った歩くスキーがブームで、札幌のように数千人のスキーヤーが、長い長い列を作って野山を歩く、こんな『大会』も開催されるようになりました。

長い冬の間、家の中に閉じ籠りがちな北国の人々にとっては、スキーをとおして、健康増進・ストレスの解消・見知らぬ人との出会いや親睦など、数知れぬメリットがあるでしょう。

しかし、自由であるべきレジャーが、大きなワクの中に閉じこめられているような気がしてなりません。多勢の人達が、限られた場所と同じような行動では、いくらレジャーでも常に他人を意識せずにはおられませんし、いくら美しい大自然の中で、汗を流すことが出来ても、いい汗、即ち心の浄化まで期待することはどうも出来そうもありません。

こんな訳で、一度雪の原野にお誘いしたいのです。そして、風が雪の紋様を書いて去った跡や、キタキツネ・ユキウサギ・エゾリスのような動物達が、厳しい冬を生きるために書いた足跡をそっと見ながら、静かに歩いて欲しいものです。きっと大自然の書き綴った絵日記を見ることが出来る筈ですから……。

幸い釧路や根室地方は、原野をスキーで歩く格好のフィールドなのです。山坂ばかりスキーで歩くのではありません。むしろ、夏、人間が容易に入ることの出来ない沼地や湿原が最高でしょう。絵日記が賑やかですから、決して退屈することがないからです。例えば、ユキウサギの跡をキタキツネが執ように追った跡、そして双方共猛烈に走り出した跡、やがて、とうとう獲り逃してしまったキツネの

足跡が雪原の彼方へ消えてゆく……。こんな足跡をじっくり観察しながら静かにその跡をたどってみるのです。彼等が命がけて逃げた跡であり、命がけて追った跡だから、本当に迫力があるのです。そして、きつと大きな感動を覚えるに違いありません。また、高層湿原はヤチハンノキの林で覆われていますから、もつと賑やかです。北から渡って来たベニヒワやキレンジャクが、夏冬通してすんでいるシジユウカラヤコゲラと仲よく同居している様も、きつと心を和ませてくれるでしょうし、常に死と隣り合わせて生きている小鳥たちの姿から、必らず勇気づけられるものがある筈です。

いかがでしょうか……。そんな雪の原野を静かに歩いてみませんか。そしてゲレンデスキーのように『ハデ』ではありませんが、豊かな大自然をじっくり味わうことができるでしょう。きつと『ヤミツキ』になること請合いです。

(白糠営林署・梅本記)

歩くスキーに興味をもちました方は、会長の上田まで御連絡下さい。一度、実行してみませんか……。？。

(上田記)

シヤント





高橋宏政腎友会顧問を市議会に送り込もう

10月6日選挙告示、10月13日(日曜日)市長・市議会議員の投票日です。

高橋氏は、釧路に腎友会が誕生した時から顧問として活躍されました。

結成当時、入院している患者がほとんど、通院できる人はごく一部の人でした。

送り込まれて来る患者も、病気に対する知識もなく、医学的にも進歩がなく生死を危ぶまれる患者ばかり、こんな頃から10数人と患者団体の顧問を引き受け、釧路市内外の患者を問わず、患者の悩み等を聞き処理に当たって来ました。会合の各行事にと良く参加され、私達の悩み苦勞が良くわかる人です。

腎友会は、全国の組織をあげて『腎疾患総合対策』を国に実施させようと懸命な努力をしております。腎疾患総合対策と言うのは、調査から予防・治療・移植・社会復帰に至るまで行政(国等地方自治体を言う)の責任において法律化し実施することです。

肺結核が現在のように鎮まったのも、国が法律を作り絶滅のため努力したからです。

私達も腎疾患を絶滅させるため全力を投入して行政が実行に移すまで頑張っ行ってはありませんか。

私達の願いを達成するためには、私達の立場が、苦しみがわかる人、高橋宏政氏を議員として市議に送り込むことです。

会員・非会員を問わず、家族・隣り近所・知人等多くの方々の御理解と御協力を切にお願いするものです。

※紅葉の温泉へあなたもご一緒しません
釧路腎友会一泊旅行は浦幌の留真温泉!!

すでに第一次募集はメ切りましたが、若余裕がありますので、今からでも参加希望方がいらっしゃいましたならば、各病院幹さん又は、直接、釧路腎友会事務局(早坂、橋、山田)まで御連絡下さい。

日時：10月19日～20日

行先：浦幌・留真温泉

会費：¥3,000(会員)

家族は¥5,000

小人は¥4,000

本当に一軒だけの温泉、囲りを大自然にまれ、溪流に紅葉が美しく映え、山菜料理あなたを待っております。

留真温泉



楽しんで、いい湯
いい味、いい空気
の〜んびり・ゆつ
くり

◎ 今後の行事 ◎

10月19～20日
一泊旅行…留真温泉

10月27日
10時より腎友会の会合、並びに通院
通費の支給。……福祉会館3階 畳の間
13時より例年実施しております健康
座。……婦人会館(福祉会館6階)

10月より
年賀状の印刷あつせん。

暑かった野遊会

8月25日(日)晴れ 午前10:00集合 参加予定者50名。朝から20度を越える気温が 暑い日を予感させた。定刻が近づいてくると 参加者が だんだん集まってきた。それぞれが グローブをとり キャッチボールを開始。10球も投げると もう汗が出るほどの暑さ。人数がほどほどになったところで ジャンケンをして 2チームに分けた。Aチームの先攻で始まりました。試合は1点を争う好ゲームとなりました。Bチームがねぼって 3対3で迎えた最終回の表、Aチームが貴重な1点を入れ、結局 そのまま4対3でAチームが勝ちました。

そんな中で、エラーをした人は「豚じる 半分しかやらないぞ。」などと言われていました。最優秀選手は忠村さん? 名ランナーは中村さん(協立)?

ゴールデングラブ賞 長岡さん? ユーモア賞は事務局長? それぞれ沢山の豚じるをもらったとか?! もらわなかったとか!? ……………

一方、調理班の方では、細かく切りきざまれた肉や野菜がグツグツと煮こまれていました。ソフトボールが終わったとき ちょうどでき上がり、ドンブリにタップリ 分け合って フーフーいいながら食べました。大なべに2つもあった豚じるが あっ! という間に なくなってしまいました。25度を越える暑さの中で おいしそうに食べていました。 そのあとは、スイカを食べたり ソフトをしたり、自由に汗を流して 1:30ごろに解散。 参加者の皆さん 御苦労様でした。また お手伝いしてくれた方々 ありがとうございます。 来年は今年より もっともっと充実した野遊会にしたいと思います。いや~! とにかく暑い一日でした。

(記 橋本)



◎腎友会々合のお知らせ

来る10月27日、下記の通り会合を開きます。会員の皆様とお会いする機会かめったにありません。この機会に色々な話し合いをしたいと思っておりますので是非御出席下さい。

記

- 日時 10月27日 10時より
場所 福祉会館3階大ホール
(幸町9-1)
議題 (1)腎友会の現状と今後について
(2)署名カンパについて
(3)年賀状の印刷あっせんについて
(4)通院交通費の支給
11時~12時の予定
(5)腎友会々費の受付
(6)その他

※引き続き健康講座に出席される方には昼食代の一部を補助します。
是非御参加下さい。

◎花火の販売終る

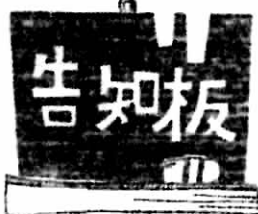
北海道難病連主唱による、各患者団体運営資金確保のため、例年実施しております花火の販売、今年も無事終了しました。

皆様の御協力に対し、厚くお礼申し上げます。

販売実績は次の通りです。

市立病院	91個	販売額	114,300円
日赤病院	6個	"	9,000円
協立病院	165個	"	175,250円
林田クリ	121個	"	130,500円
根室病院	21個	"	23,400円
計	404個		452,450円

- ・釧路4病院の利益(71,410円)は、釧路腎友会の運営資金とします。
- ・根室病院の利益(3,790円)は、根室の運営資金として使用します。
- ・厚岸は、厚岸難病連支部に販売協力しました。



◎会費納入のお願い

釧路地方腎友会々費、60年度分納入お忘れの方はいませんか。腎友会の運営は、皆様の会費で運営されております。是非納入して下さい。

一括納入が原則ですが、無理な方は分割納入も受付けております。
どうぞよろしく。

◎健康講座の開催

例年実施しております、腎臓病の予防と早期発見について、諸先生の協力を得て、今年で7回目となります。

自からの苦しみの体験から、これ以上腎臓病患者を増やさないため、病気の恐ろしさを知って頂き、早期発見につとめ、一人でも多くの方が、この病気から救われる事を願っております。

会員の皆様を始め、家族共々、隣り近所の方もお誘い合せの上御参加下さい。

記

- 日時 10月27日(日曜日)
13時より
場所 福祉会館6階(婦人会館)
(幸町9-1・TEL23-6471)
入場料 無料

- ・講師 藤田 繁先生
(市立病院・小児科部長)
演題 小児腎疾患の特性とその予後について
- ・講師 岡田 隆夫先生
(市立病院・内科部長)
(循環器)
演題 成人病と腎障害……主として糖尿・高血圧との関連性について

1年間をふりかえつて

協立病院 竹内 昇

厄年とは、昔の人はよく言ったものである。何を根拠に厄年を決めたのかは知らないが、寿命が伸びたと言われる現代でも、男は40になるとガタかくる。私の場合も同様で、正に厄年に腎不全を宣告されたのであるから、昔の人の言い伝えを忠実に実践したことになる。その意味では厄難と言えそうである。しかし、振り返ってみると、病気の原因は、病気に対する不注意と誤解にあったようである。

腎臓病との最初の出合いは、30半ばであった。この時は自覚症状もなく、無理をしないようにという診断で、薬も制約もなかった。だから仕事はいつものペースでやり、忙がしさも手伝って、いつしか腎臓病患者であることを忘れていた。

腎臓病との再会は、厄年との巡り合わせでもあった。風邪をひいて直らず、仕事のと、個人病院へ通院して治療していた。一向に直る気配はなかった。そのうち、声が出なくなった。そしてその夜、就寝中突然呼吸困難の発作に襲われた。なんとも言えない苦しさであった。やっとの思いで救急病院へ駆けこみ、注射をしてもらおうと、それまでの苦しみはうそのように消え、楽になった。それで、朝になると出勤し、帰路に個人病院で注射をし、家に着くと、食欲がなく、疲れ切っている。で、食事もそこそこに床に就く。そして、夜中になると発作が起き、救急病院へ駆けこむ。そんな繰り返し、連続3度続いた。とうとう救急病院の医師から、総合病院で検査をしてもらおうよう勧告された。この時になって、なんとなく不穏な気配が感じられた。

次の日、総合病院へ行った。若い医師であったが、私の顔を見るなり、即座に腎不全を診断した。すぐに入院するしかなかった。水分制限はなかったが、食事は完全に無塩であった。これがつらかった。が、不思議と病気に対する不安はなかった。いつか直してくれるに違いないと信じていた。だから入院中の

心境は、無塩と退屈との闘いでしかなかった。いたって気楽な気持ちであった。ところがその頃、私の病状は、透析に踏み切るか、もう少し様子を見るかの瀬戸際だった。そのことを知って、一時は愕然とした。が、すぐに気を持ち直すことができた。成り行きにまかせる以外に方法はない、と観念したのである。それから間もなく、病気が快方に向かったことを知らされた。うれしかった。しかし、退院してからの制約は多く、塩分・過労・通院と、この時からいやおうなしに腎臓病患者としての生活が始まった。中でも一番つらかったことは、いつ透析に入るようになるか、ということであった。たえずバクタンを抱えた生活である。そんな薄氷を踏むような生活が5年間続いた。そのうち次第に仕事に比重がかかるようになり、いつしか病気のことは忘れがちになっていた。

ついに恐れていた時が来た。体がなんとなくだるく、食欲もなくなってきた。そのうち、体のあちこちに稲妻のような痛みが走り、一瞬動けなくなった。呼吸をすることも、やっとならなくなった。肉が張り裂けるような痛みであった。2分ないし3分間は、痛みをじっとこらえるしかなかった。そんな痛みが、体の随所に、間断なく発生し、身の置きどころのない苦痛にさいなまれるようになった。病状が悪化した以外の何ものでもなかった。

中学校教師という職業柄、高校進学を希望する生徒を、志望校に入学させてやりたいという願いは強い。ことに3年生を担当するとそのための忙がしさは計り知れないものがある。単に勉強を教えるだけでなしに、勉強を嫌いな生徒に、勉強をさせるようにするための苦労は並たいていのものではない。又、悪いことをする生徒を更生させる仕事も抱えている。それらの生徒を高校に受験させ、合格が確定するまで、気の休まる暇がない。受験をしない生徒には、就職の心配がある。不合格者が出ると、その身の振り方も頭痛のタネとなる。無事卒業させ、ほっとするのは、45名の生徒の身の振り方が決定した時である。

そして、その頃になると、新学期の準備を始めなければならぬ。これが中学校教師の宿命なのだ。

今度は透析はまめがれないと観念したのは、体に痛みを感じ、疲労の度合いが激しくなり、食欲の減退を意識した時からであった。病院へ行かなければならないことは十分承知していた。しかし、病院へ行くと、たとえ透析はまめがれたにしても、入院を避けることができないことは、これまでの体験から直感した。自覚症状が現われるようになったのは、2月下旬からである。高校受験をひかえ、一日一日が大切な時期であった。そんな状態の時に、3年生の担任教師としての使命が、病院へ行くことをためらわせた。どうしても、子どもを置きざりにすることはできなかった。受験が近づくにつれて、生徒は動揺する。そんな時に大切なことは、教師の子どもに対する愛情と、教師自身の毅然とした態度こそが、不安と焦燥に駆られた生徒の心をなごませ、勇気づけることができるのだ。毎朝ひとりひとりの生徒の顔を眺め、表情や言動を観察することによって、生徒の心理状態がわかる。落ちこんでいる生徒には、力づけてやることも必要になる。合格があやぶまれる生徒には、家庭訪問をして、親に対する指導も欠かせない。家に帰ってからは、子どもの状態を心配する親からの電話の応待もある。

そんな状態の中で、苦痛をこらえ、45名の生徒の明れがましい進路をみとどけるまでは、なんとしても耐え抜くしかなかった。やっと安心できた時には、病状が極限に達していることは、倦怠感、過労、激痛などの症状によって、いやおうなく自覚させられていた。体を動かすのもやっとであった。明日の朝こそ病院へ行こうと決心した直後、苦痛はさらに激しさを増すようになった。とても明日までは待てなかった。やっとのこと病院へ行き、病状を話すと、すぐ入院が決定した。

透析が確定したのは、入院後まもなくのことであった。この時もそうであったし、透析に入った時も同じであったが、観念していた

ためか、落胆も、動揺も不安もなかった。ただ、学級担任ができなくなることが残念であり、悔まれてならなかった。それ以外後悔もなかったし、比較的冷静であった。5年間抱えてきたバクタンが破裂したのであり、その時期が丁度学級の生徒が卒業期にあったというだけのことで、かえってふんぎりがついて気が楽になった面もあった。無事卒業させることができたし、生徒も、親も満足してくれたことがすごくうれしかった。それだけで、病気の苦しみから救われる思いがしたのであった。

すでに1年が経過した。現在は夜間透析をするために転院し、勤務しながら透析を受けている。今でも学級担任をしたい気持ちに変わりはないが、実現は無理である。これも性分で、いつまでも思い悩んだり、思案にくれたりすることは、性に合わないらしい。だから、タメだとわかったら、あきらめも早い。現状の中で、最大限に仕事をする方法を考え、全力を投入するしかないのである。病気を忘れることはできない。しかし、病気に負けない生活はできる。自分の体力や、能力に合わせた生活をすればいいのだ。お陰で、現在は医学の進歩がめざましい。よほどのことがない限り、この世の終わりはない。医師を信頼し、スタッフに感謝し、病気のことは全面的に病院に依存し、病気以外の活力を自分の生き甲斐に活用すればよいのだ。他力本願ではなしに、病気のことは医師がエキスパートであり、権威のある存在なのだ。だから、病気のことは医師とスタッフに一任し、余力は自分の生活にあてるという分立した生活することによって、生活に調和がとれるし、ゆとりも生まれる。ゆとりで素人判断をして、思い悩む必要はないのだ。

幸か不幸か、私の場合、透析に入ってから心方が、精神的にゆとりが持てるようになったことは事実である。透析に入るまでは、趣味といえは仕事であった。それが今は、仕事以外に趣味を持てるようになった。ネコの個々の狭い庭にハウスを作り、キウイ、

マト・ナス・ピーマン・イチゴ・その他、プランターでは、20カブ、ホウレン草・ナツバなどの栽培である。おもしろいくらいによく穫れる。退屈する暇がない。学校にあって同じで、担任をしないかわりに、環境整備の仕事を引き受け、広い校庭の草花や樹木の栽培や手入れに忙しい。植物栽培はまったくの素人であり、知識もなかった。見よう見まねの作業である。それが楽しくもあり、花が咲き、実がなるとうれしいものである。

来年からは、苗でなく、種子から育ててみようとか、南国の植物にも挑戦してみようなどと、先のプランを展望することも楽しみである。冬になったら、本格的に研究してみようと思っている。そのうち、運がよければ、医学の進歩・発展の恩恵に浴することができるようになり、念願の学級担任も夢ではなくなるかもしれないという希望を持ち続け、卑屈にならず、たえず健全で前向きの人生を送りたいと考えている。

たった一度の人生であり、やりなおすことのできない人生なのだから、せめて残された人生だけは大切に、有意義に過ごしたいと願うこのころである。



西別岳登山に参加して 協立病院 小熊裕子

今年も、登山の日を楽しみにしていました。去年、登山に参加し、頂上まで登りました。今年もがんばって、頂上まで登ることができました。

山へ行く時、バスの中で、じゃんけんゲームをして、とても楽しかった。山に登る時、あまりこわいけなかったけど、汗が一杯出ました。頂上で、おとうさんが作ってくれたおにぎりか、とてもおいしかった。

が、景色が見えなかったのが残念です。



トマトと私

林田クリニツク 渡辺喜久

ある町かどで鉢植えのトマトを見た。

私は「あゝこれはいい、必ずしも畑に植えなければならぬ事はないのだ、「よし、来年は私も作るぞー」。

さて、待ちに待った今年の春、スーパーにトマトの苗が入るのを待った。一番最初に入った時はまだ寒そうなので(トマトは寒さに弱い)少し暖かくなるのを待った。

いろいろの苗が沢山出て時期もよしと、ミニトマト2本と普通のトマト2本、鉢を2個も買う。

土は黒土を兄の家からもらって来た。

普通のトマト1本を花畑に植え、残りの3本を鉢に植える。夜は玄関に入れ、朝は外に出す、毎日々々くり返す。サルカニ合戦のカニの心境だ「早く花咲けトマト君、早く実をつけトマト君」。

とても順調に育ってうれしく思っていると寒い日が2日程続いた。苗は寒さの為ちぢんでしまっただツクリ!!

心を取り直し、不安と期待の中、以前にも増してせっせと、とかわいがる。

そのかいあってか花が咲いた。喜び勇んでトマトーンをかけてやる。小さな実がついた時はうれしかったね。

さすがに花畑に植えたのは実が大きく「わしはトマトだぞー」とイバっている様だ。鉢植えの方が沢山花がつき、実も小さいが沢山ついた。毎日眺めるのがたのしみだ。

トマトは消毒をしないとくさるのでいろいろの消毒薬や霧吹きなどを買った。ずいぶん高いトマトにつくなあ、食べようと思うなら買って食べた方がずーと安いね、これは私の観賞用だ。

8月になるとボツボツと色づき出して来た、待ち切れずに真っ赤にならない内にとつて食べてみる。やはりまだ早い。それからは手を出さず、じつとがまん、真っ赤に色づき、良く熟したのを食べて見た時の感激、「おいしかったね」。

果物はおもてがてが一番おいしい、兄妹とか友達に2〜3個ずつ『私が作った』と自慢して食べてもらう。「おいしいでしょう」と無理に言わせて喜んでいる私……。

去年のある町かどへ行って見た。あったあった、やはり鉢にトマトが元気いっぱい育っていた。

知らない人なのに『今年は私も作ったのよ〜』なんちゃって立ち話を少々。

来年も私はきっとトマトを作るだろうな。

……白壁と美術館の街・倉敷……

今回の全腎協総会は会の内容もさる事をながら倉敷の地にも期待があった。若い人・特に女性に人気のある街と聞いていたが白壁の倉敷郡はおじさんなる私にも大いに興味があった。ここには有名な大原美術館がある。ピカソ・ルノアール・ゴッホ等よく見聞きする画家達の絵が並んでいた。これは倉敷紡績の創設者大原孫三郎より三代にわたり収集したものだそうだ。いったいどれだけの私財を投じたコレクションかと驚く。ホテルに戻ってから同室の人に美術館の話をする。「財閥搾取の産物だ」との答え。なるほどそのような見方もあるのかと思う。が、私は単純に驚いている方が楽しい。美術館は大きく、本館の他にいくつかの別館がある。洋画・邦画・古代中国・エジプトの出土品・陶器・織物等様々な作品が展示されている。階段の上り下りが多く、私には息切れと目まいがおこってくる。そんな時である。はっと息をのむ作品に出会った。横方志功の版画である。仏様や観音様がいろは四十七文字の中に生き生きと舞っている。感動という心の動きには鈍くなっていた私だがこれは実にすばらしかった。パンフレットを求め、創始へもどってから時おり手にする。

倉敷の町並みは写真通り美しかった。この地域は美観地区といって白壁などの美しさを保存するように義務づけられている。品の良い喫茶店や気のきいた小間物を売っている店、おみやげ屋が並ぶ。一語について来た娘は『北海道へのおみやげを見立ててあげる』と驚くほど高価な備前焼きの壺などをうれしそうに選んでいる。娘の連れて来た一才になる孫のヨチヨチ歩きが人目をひく。若い女性が『まあ、かわいい』と寄って来てあやすのなど、ジジ馬鹿として悪い気はしない。

美観地区を出ると駅ビルと市役所が目につく、駅ビルは新しく都会的だ。市役所も新しく高級ホテルと見違えるほど立派だ。完成当時は財源などをめぐって新聞・雑誌をにぎはしたので知る人もあろうかと思う。とにかく一見に価する。タクシーの運転手さんが『新しい観光名所ですよ』と笑った。とにかく倉敷にはモダンで立派な建物が多し。文化的な街という印象が残った。しかし裏通りに入ると見るとやはりどの街とも変わらない生活臭がある。商店街は美観地区や駅ビルに比して質素にさえ見えた。

さて再び美観地区に戻ろう。ここにはもう一つの見所、旧倉敷紡績工場がある。今はホテルや記念館などに使われている。レンガ造りにあわせたツタが美しい。『アイビースクエア』といかにも若者好みの名がついている。中央にある休憩用広場で熱をもった足を休める。娘がサンドイッチや飲物などを買って来て、小さな息子に食べさせるのに悪戦苦闘している。私も子供にもどった気分ソフトクリームを片手に快い疲れに浸った。

短い楽しい倉敷での一日であった。

60年6月記 早坂



市立2部透析室レポート

レポーター そのまんま東2世

14:00

透析室に皆んなか揃えと透析の開始である。藤原さんと水沢さんは、テレビを見ながら、山田さん金井君、早川さんらは、すぐ寝ちゃってしまう。(私はレポートの為、いつものように起きている)。

14:30

青地君が来て2部全員が揃う。(学生なのでいつもは15時頃になるが、なぜか今日は少し速い。)

14:40

おやつ(コーンアイス)が出る。全員この時は、起きて食べる。

15:30

血圧および体重測定の時間が来て、寝ていた者がふたたび起こされる。だが珍らしく藤原さんが起きている。この間の透析中全員変化なしで元気。

16:00

早坂さんが山田さんと金井君を透析室に訪ねて来た。(ご苦労様)

16:30

まことにまった夕食の時間がやって来た。メニューは、五日ごはん・イモサラダ・冷ヤツコである。皆んなおいしいと言って、ほとんど残さず食べてしまった。水沢さんが、今日、主任に出してもらったカゼ薬を飲んで、薬がいつもと違うので、この薬には愛がこもっている、などと意味不明の事を言って、皆んなを笑らわせる。食後の体重および血圧測定で金井君は、血圧が高く薬を飲む。

17:00

夕食後は、各自テレビなどを見ている。中でも青地君は、一人で『夕やけニャンニャン』を見てうけている。(やはり彼は若い)

17:30

金井君、薬がきいて血圧が少し下がる。他の人は、変わりなく静かな透析です。

18:00

いよいよ終わりの時間となり、順番に回収が始まる。

18:50

回収が終わり、各自それぞれ帰途についた。

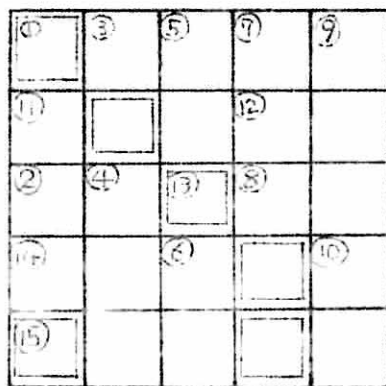
最後に2部透析の患者のほとんどが仕事を持っているので、透析中寝る人がほとんどでいつも静かな透析となっています。

今日の格言『愛あれば何事もかなう』(藤原)。『針さしからの15分間がその日の体調(のり)を決定する』(金井)。

本日の健康状態、水沢さん(カゼぎみ)をのぞき良。本日の透析は、金井君(血圧上昇)をのぞき良。



★クロスワード・パズル★



8月号のバズル正解「ミナトマツリ」でした。正解者15名(全応募者です)。抽選で次の方々に記念品を差し上げます。

当選者名

市立病院の長屋と志子さん、桜井久子さん、渡辺文子さん、水沢秀一さん、藤原修二さん、林田クリニックの荒藤年さん、渡辺喜久さん、木口八重子さん、協立病院の宇井美江さん、松尾政明さん、以上10名の皆さん、おめでとございます。

それでは今月号の問題を出題します。バズルを該当する言葉で埋めて行くと二重ワクの6文字で季節の言葉……?が出来上ります。

さて、今月号は……。正解者中10名に記念品贈呈。正解・当選発表は次号にて。〆切10月31日。

ご応募お待ち致します。

解答宛先……釧路市新富町1の7・林田クリニック内・釧路会事務局編集部。

下記に記入の上、郵送又は各病院幹事さんへ。

……………切 取 線……………

10月号『たんちょう』バズル

答 秋の陽は

--	--	--	--	--	--

病院名

氏 名

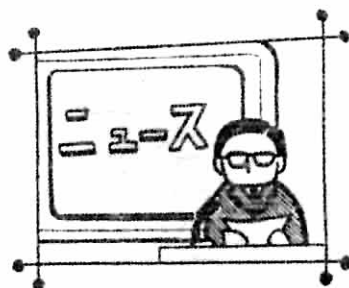


タテのカギ

- ①「右と左で〇〇になっております」(刈)
- ②真っ赤に熱した〇〇〇!!
- ③「俺はおめしを〇〇!!覚悟しろ!!」時代のせりふ……。
- ④今年もアキアジの大群がおし寄せる根室津からマウス間の〇〇〇ッ川!!
- ⑤「母さんが〇〇〇して手袋あんでくれたア」(ごぞんじの母さんの歌)
- ⑥「今晚お〇〇りですね。お風呂わいてございます。お食事はあとでなさいますか。それではごゆっくりどぞ」
- ⑦「夕やけこやけの〇〇トンボ」
- ⑧昔はアイロンかけずに〇〇〇したもんだ!!ズボンヤスカート。
- ⑨「わし、あれすき!!。ほれ〇〇〇〇大根、油揚げ何んかと正油でからめるの」(かわれじゃないよ)
- ⑩「てやんでい…!!味は〇〇でみるもんだ!!えらそうにごたく並べんない!!どしろうとが」

ヨコのカギ

- ①「〇〇〇の晩に鶴と亀がすべった後の正面だぁ〜れ!!」
- ⑦「今はもう〇〇誰も居ない海〜」
- ⑪ 熊公のやつこの穴の中に〇〇〇!!そ〜と行け。そ〜と」
- ⑫「〇〇が鳴いて飛んで行かぁ!!」(ご存知名月赤城山!!)
- ②「こちらの方がお〇〇になっております」(進め上手の売り子さん!!)
- ⑬「まきばく〇〇ばなんねエ。火イ消されんねえだからのオ」「んだ、オオカミ寄って来っからなあ〜」。
- ⑧「〇〇すけ、早く起きなさい!!」
- ⑭「弾丸よりも早く、機関車より強い。大空もひとつ飛び。そうです!!我らのスーパー〇〇!!」
- ⑥ハイツ3番テーブルさんお〇〇〇出来ましたぁ!!おあげして。(ツキ出しとも言う)
- ⑮「ハイ。うちの子供達もやっと〇〇〇〇〇これから一家そろってシベリアの方へ飛んでまいります。それでは皆様ごめんあそばせ!!」渡り鳥のママさん……。



人工透析を18年間

小紫由美子さん死去

シン臓の人工透析を受けた患者としては世界で最も長く生存していた小紫由美子(こむらさき・ゆみこ)さんが十六日午前一時四十三分、慢性シン臓炎に肺炎を併発、入院先の東京都新宿区の東京女子医大病院で死去した。二十四歳。東京都出身。葬儀は十八日午後一時から東京都大田区田園調布一ノ二九ノ一六の自宅で腎臓移植普及会の会葬として行われる。喪主は父方夫(よしお)氏(横浜倉庫社長)。

由美子さんは五歳の時にシン臓病を発病、四十五年、米国・ニューヨーク州立大で、母由美子さんが拒絶反応が出た。四十八年には同大病院で死亡した人のシン臓移植を受け九が、失敗した。四十二年八月以采約十八年にわたってシン臓の人工透析を受け、生活しており、東京女子医大によるとシン臓人工透析を受けた患者としては世界で一番長く生存したという。

若齢老齢年金の有資格者は申請手続きを

来年4月から制度廃止に

年金制度の「改正」にともない、来年四月から若齢老齢年金が廃止されます。来年三月末までに若齢老齢年金の資格を満たす人で障害年金より有利になる人は、制度が廃止になる前、来年三月三十一日までに申請手続きをとりましょう。

若齢老齢年金は、①厚生年金の老齢年金の受給資格期間(原則として二十年以上)を満たしている人で、②障害年金の支給を受けられる程度の障害の状態にあり(現に障害年金を受給しているかどうかにかかわらず)、③退職し、または退職後に障害状態になったとき、④年齢にかかわらず老齢年金を受給できるものです。

若齢老齢年金は、自動的に受給資格ができるわけではありませんので、受給の申請手続きをしなければなりません。申請が一月遅れるとその分だけ損をしますので、受給要件を満たしている人は少しでも早く申請することかたじけなくです。お住まいの近くの社会保険事務所で裁定請求書をもって、申請手続きをしましょう。

『全腎協』第七九号でお知らせした厚生年金・障害年金の事後重症の手続きも早目に提出しましょう。

臓器移植の動きに弾み

販売開始は来春から

薬抑制の反応の拒絶
サイクロスポリン

来月に輸入承認

臓器移植後の拒絶反応を抑制する特効薬として一昨年、欧米で認可された化学物質「サイクロスポリン」が、日本でも来春から販売されることになった。既に厚生省の中央薬事審議会の調査会で八月に実質的な審査を終え、今月末の同医薬品特別部会を経て十月、同特別部会で正式承認の運びとなったため、十月に予定される厚生省の脳死判定基準の公表を待って本格化が予想される日本の臓器移植は、これにより大きく促進されそうだ。

サイクロスポリンは土壌したスイスのサンド社の日中のカビの一種から見つかった化学物質。これを開発したスイスのサンド社が昨年七月、サ

サイクロスポリン 一丸 抑制では最高とされる。現七〇年ノルウェーの土壌中のカビの一種から発見された化学物質。従来の免疫抑制剤に比べて拒絶反応を抑制する効果が高く、副作用も少なく、開発済みの免疫抑制剤では最高とされる。現在、ノルウェーの土壌中のカビの一種から発見された化学物質。従来の免疫抑制剤に比べて拒絶反応を抑制する効果が高く、副作用も少なく、開発済みの免疫抑制剤では最高とされる。

「サイクロスポリン」の商品名で厚生省に輸入・販売の承認申請を提出した。

新薬の製造、輸入は中央薬事審議会の調査会・特別部会・常任部会の三段階の審査を経て正式承認、認可となる。実質的な審査は厚生省による聞き取り及び事前審査と第一関門の調査会、サイクロスポリンは八月二十六日に調査会で承認され、特別部会、常任部会をパスするのは確実な情勢。最終承認の後、有効性などを確認する国家検定手続きが残されるため、実際に輸入、販売が開始されるのは来年三、四月となる。

サイクロスポリンは五十二年サンド社が開発して以来、副シリン皮質ホルモン、イムランなど従来の免疫抑制剤に比べ拒絶反応に対する高い抑制効果が確認され、欧米では臓器移植の切り札として使われている。国内でも血縁者間の生体臓器移植などを利用してサイクロスポリンの臨床実験が大学病院で進められた結果、一年後の生存率などに他の免疫抑制剤を使った場合とは大きな差が見られ、国内の臓器移植関係者からサイクロスポリンの早期実用化を望む声が出ていた。

昭和60年(1985年)9月16日(月曜日)
北 海 道 新 野

一方、国内の臓器移植は四十三年、和田寿郎元札幌医大教授が行った心臓移植が殺人罪の告発(不起訴処分)を受けて以来、心臓移植が全面的にストップするまで欧米に比べ大きく立ち遅れている。しかし十月、「脳死」に関する研究班が公表を予定している新たな脳死判定基準を待つて告発化する情勢にある。

※ 会員の動向 ※

◎新規患者

- ・横山登志子
根室市
- ・戸倉トサ
釧路市
- ・畑中昭子
月岡町
- ・滝口栄子
根室市



◎変更事項

- ・岩崎幸子・釧路市
に変更
- ・宇井美江・釧路市治水町
- ・菊地ハツエ・釧路市
に変更
- ・白木沢安広・釧路市
- ・佐々木鎮雄・釧路市
- ・鎌田紀子・日赤・8月1日より入会
- ・関川みよ・8月末にて退会
- ・山崎 実・市立・8月8日死去
- ・伊藤八重子・日赤・8月26日死去

